

二 退職手當制度並ニ福利施設ノ有無

退職手當制度アリ 福利施設アリ

五 従業員解雇ニ關シタル事情

持越金山ハ従来一日三百頰、鑛石ヲ採掘シ居リタルニ漸次減
少シ最近ハ二百頰内外ニ低下シ殆ク収支償ハサルニ立タ至
リ已ムナク全従業員ノ三分ノ一ヲ整理シ一方新鑛脈ノ發見
ニ努メ事業ヲ繼續スルニトシ決定シ五月十九日二百七十七名
（内女一）ノ解雇ヲ發表シ解雇者ニ對シテハ左ノ通り手
當ヲ支給スルニトセリ

① 解雇手當

昭和十一年十二月三十一日迄ノ同社内規ニ依ル退職手當金
又同十二年一月一日以降ノ新規程ニ依ル退職手當金ヲ合算

セリモ

又前項ト同格ノ解雇手當

八十四日分ノ報告手當

一 滯京旅費（十五日以内ニシテハ之ノ限ル）

均會社ニ於テハ事業全ク止ムヲ得ズ斯ル措置ヲ講ビタル之ノ
ナレニ就テ労働組合及一般従業員ノ解雇ニ努メ解雇ヲ承認セ
ルメ問題ヲ圓滿ニ解決スヤク對策中ニシテ殊ニ一般的交渉ハ
鋭ク且現場ニ於テ行ク模範ナリ

六 總同盟本部ノ動靜

總同盟持越支部ニ在リテハ會社側ノ大量解雇發表ニ絶對的ニ
反對シ本部ノ指揮ヲ仰テニ軍リタルガ曩ニ靜岡（貴）縣下ノ

駿豆鉄道争議ニ應援中ノ本部員林三順、松浦滿壽夫ヲ急據
持越金山ニ移動シ更ニ十九日本部員小林利二十日池善ニ

ク現場ハ急行セルメ目下湯島町湯本旅館ヲ對策本部トシ
テ總同盟本部ト連絡シ争議ニ入リタルガ總同盟本部ニ於テハ
本争議ヲ重大視シ特ニ會長松岡野吉ハ斯ル大量解雇ク一言